

ゆるエコとうべつ

環境のために今、

私たち一人ひとりができることを 環境生活課環境対策係 ☎ 23-2503

ごみを減らす暮らしの工夫 ～サステナブルな地域づくりを目指して～

秋の訪れとともに、衣替えや模様替えをする時期がやってきました。生活環境の変化に伴い、家庭から出るごみが増えやすくなります。

日々のちょっとした工夫でごみを減らし、環境にやさしい地域づくりに取り組んでみませんか。

当別町の家庭ごみの状況

町では、令和6年度の1年間で約267万トンの家庭ごみが排出されました。家庭ごみは年々減少しているものの、「燃やせるごみ」として処分されているものの中には、再利用可能な資源がまだ含まれている場合が少なくありません。

さらに、近年プラスチック製品や使い捨て容器の使用が増加し、環境への負荷が懸念されています。ごみを減らすことは、地球環境の保全だけでなく、町のごみ処理費用の削減にもつながります。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
家庭ごみ (t/年)	3,572	3,386	3,291
1人当たり家庭ごみ量(kg/年)	233	221	217

当別町の家庭ごみ量の推移

暮らしの中でできるごみ減量の工夫

ごみ削減のためには、日常生活の中で「4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）」を意識して取り組むことが重要です。今日から始められるちょっとした工夫をご紹介します。

リフューズ Refuse 不要なものを断る

無料でもらえるチラシやノベルティを断ることで、使わないものが家に溜まるのを防ぐことができます。

過剰包装の商品を避けることで、プラスチックごみの削減につながります。

リデュース Reduce ごみを出さない工夫

マイバッグやマイボトルを持ち歩くことで、使い捨ての容器や袋を減らせます。

必要なものだけを買うように心がけることで、食品ロスや不要品の発生を防ぐことができます。

リユース Reuse 繰り返し使う工夫

壊れたものを修理して使う、または使わなくなったものを譲る・交換することで、資源を有効活用できます。

リサイクル Recycle 資源として再利用する工夫

分別ルールを守ってごみを出すことで、資源ごみが適切に再利用されます。

また、町では、役場、ゆとろ、西当別コミセンで、衣類や廃食用油、小型家電、インクカートリッジのリサイクルの回収をしています。

創造力でごみを価値に変える！

8月11日、「とうべつゆるエコフェス」において「アップサイクルコンテスト」を開催しました。

家庭で不要になったものを使い、新たな価値を生み出すことを目的としたこの取り組みには、子どもから大人まで幅広い世代が参加し、工夫を凝らした作品が多数提案されました。

コンテストの結果は、町ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。



広告

広告